

＜新年を迎えて＞

新しい年を迎えました。今発表してくれた3人と同じように、今年目標をしっかりと立てることができましたか。自分は何を大切にすべきかを考えてみましたか。校長先生は、今年も「秋保中学校で良かった」と思える学校にしていくことが目標です。

去年この場でキャリアインターンシップや起業体験教育などの秋保の将来を考える取組、また太鼓や篠笛を通して地域の伝統文化を継承していく取組がユネスコの目指すSDGs「持続可能な地域社会」に貢献する活動として認められユネスコスクールに認定されることになったことを話しました。コロナの影響で国連ユネスコ本部の認定が遅れており、昨年中に認定される予定が遅れています。でも、認められることがゴールではありません。継続してSDGsを実現させることが目標です。今月28日に国連国際シンポジウムで日本の事例紹介として英語で発表することになりました。皆さんにとって中学校は人生のたった3年間でしかありません。秋保中学校で経験したことをこれからの人生にいかにかかしていかかどうかを大切にしていきたいと思います。

もう一つ去年この場で元日の「元」の漢字について話しました。一文字では「もと」と読みます。二つ続けると「もともと」となります。元に戻るというのは最初の状態に戻る、リセットするということです。元旦というのは、新しい年、初日の出を迎え、気持ちを元に戻して新しくスタートするという意味があります。元気は、元々人間が持っている気ということです。元々は元気であることが人間の本当の姿なのです。元気がなくなるということは、本当の姿ではないのです。元気がなくなったときは、気持ちを落ち着けて元々の状態である元気を取り戻してください。コロナ感染も心配されます。悪いのは感染した人ではなくコロナウイルスです。前に人のタイプにはTAKEを大切にするとGIVEを大切にすると分かれると話しました。雪の日の朝の雪かきでわかるように秋保中学校にはGIVEを大切にすると人達がたくさんいます。周りに元気のない人がいたら「大丈夫？」と声をかけられるような雰囲気があります。年末に話したチーム力です。これからもそれを大切にしてください。

今年は3年生が自分の将来に向けて大きくステップを踏むこととなります。中学校で今まで経験してきたことを実際に生かす時です。この3年間で皆さんには大切なことを見極める力そして目が身についているはずで、新しい環境の中で存分に自分を発揮してほしいと思います。

1, 2年生は先輩として新入生を迎え、秋保中学校の新しい歴史を刻むこととなります。これからも励まし合う雰囲気を大事にして、今年1年、自分が立てた目標を達成できるように、そして、みんなで楽しく学校生活を送っていかようにお互いGIVEの気持ちを大切に声を掛け合ってください。